



鴨シー、招待市民楽しむ

鴨川市の鴨川シーワールドで12日、市民を無料で招く「鴨川市民DAY」が開かれ、ウミガメの模型に触れるなど楽しんだ。

11

# 巨大水槽前で演奏会

## 鴨川シーワールド「市民DAY」

鴨川市の鴨川シーワールドは12日、市民を無料で招く「鴨川市民DAY」を開催した。館長による特別レクチャーや巨大水槽を前にしたミニコンサートといった特別イベントが行われ、市民をはじめ来館者は特別な日を楽しんだ。

同市の前身となる鴨川、天津小湊の旧市町が合併した2月11日にちなみ、2015年から実施。4回目。今年には館内に例年の約1.5倍の2万本超の菜の花が咲き、一段と華やかな雰囲気となった。

勝俣浩館長はシャチのパフォーマンス会場であるオーシャンスタジアムで、同館のウミガメの保護活動を解説。子ガメや卵の模型に



巨大水槽「無限の海」の前で演奏する鴨川市立鴨川中学校音楽部の生徒たち=12日、同市の鴨川シーワールド

触れてもらいながら、産卵専用施設でふ化させて海へと放流する活動を説明し

た。

中央広場で、地元の「曾呂ふるさと囃子(ばやし)保存会」が獅子舞を上演。トロピカルアイランドの巨大水槽「無限の海」前では、市立鴨川中学校音楽部がユーフォニアム奏者の吉田えりさんと演奏を披露した。

演奏を聞いた鴨川市の田村実さん(21)は「魚が泳ぐ姿と曲が合っていて幻想的でもあって良かった。また見たい」と話した。